

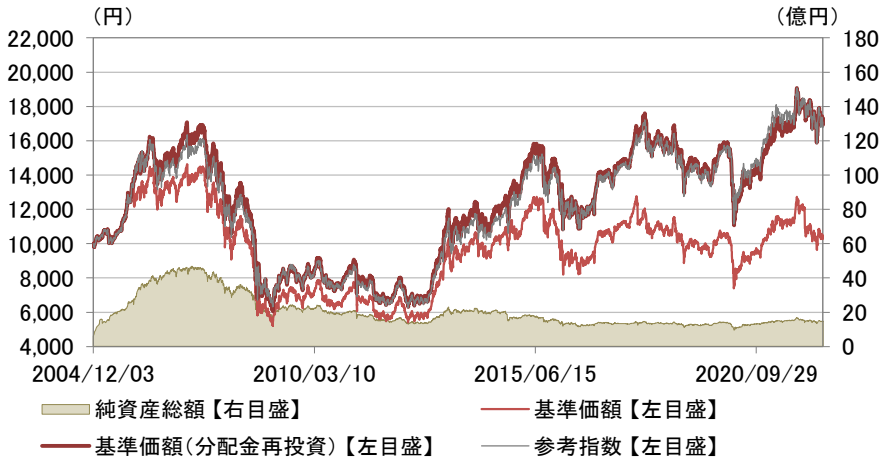
三菱UFJ SRIファンド  
 〈愛称:ファミリー・フレンドリー〉

月次レポート

2022年  
 04月28日現在

追加型投信／国内／株式

■基準価額および純資産総額の推移



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は、運用管理費用(信託報酬)控除後の値です。
- ・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- ・参考指数は、TOPIX(東証株価指数)です。
- ・参考指数は、当ファンドのベンチマークではありません。
- ・詳しくは、後記の「本資料で使用している指数について」をご覧ください。
- ・参考指数は、設定日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-2.0%	1.3%	-3.8%	4.0%	17.7%	73.1%
参考指数	-2.4%	0.2%	-5.1%	0.1%	17.4%	71.1%

- ・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。
- ・また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
- ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。
- ・分配金実績がある場合は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

■組入上位10業種

業種	比率
1 電気機器	17.5%
2 化学	8.1%
3 医薬品	7.8%
4 輸送用機器	6.6%
5 精密機器	6.5%
6 卸売業	6.3%
7 食料品	6.2%
8 銀行業	5.7%
9 情報・通信業	5.1%
10 サービス業	4.4%

■組入上位10銘柄

		組入銘柄数: 69銘柄	
銘柄	業種	比率	参考指数 構成比
1 サントリー食品インターナショナル	食料品	2.1%	0.1%
2 三菱商事	卸売業	2.1%	1.2%
3 キヤノン	電気機器	2.1%	0.6%
4 三菱地所	不動産業	2.0%	0.5%
5 高島屋	小売業	2.0%	0.0%
6 SCSK	情報・通信業	2.0%	0.1%
7 東京海上ホールディングス	保険業	2.0%	0.8%
8 オリックス	その他金融業	2.0%	0.5%
9 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.0%	1.8%
10 テルモ	精密機器	2.0%	0.4%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・業種は、東証33業種で分類しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

# 三菱UFJ SRIファンド 〈愛称:ファミリー・フレンドリー〉

追加型投信／国内／株式

月次レポート

2022年  
04月28日現在

## ■ファミリー・フレンドリー格付別組入比率

	比率
ファミリー・フレンドリー評価上位企業	82.7%
その他	12.5%

・ファミリー・フレンドリー評価上位企業とは全調査対象企業のうちファミリー・フレンドリー評価の観点から上位1/3以上に位置する企業です。

## ■オーバーウェイト比率上位30銘柄

銘柄	オーバーウェイト比率
1 サントリー食品インターナショナル	2.0%
2 高島屋	2.0%
3 NECネットエスアイ	2.0%
4 SCSK	2.0%
5 三菱マテリアル	1.9%
6 H. U. グループホールディングス	1.8%
7 熊谷組	1.8%
8 日本特殊陶業	1.8%
9 日東電工	1.8%
10 三菱瓦斯化学	1.8%
11 堀場製作所	1.7%
12 森永乳業	1.7%
13 カシオ計算機	1.7%
14 大成建設	1.7%
15 協和キリン	1.6%
16 オムロン	1.6%
17 三菱地所	1.6%
18 テルモ	1.6%
19 三井住友トラスト・ホールディングス	1.6%
20 兼松	1.6%
21 アサヒグループホールディングス	1.5%
22 ディー・エヌ・エー	1.5%
23 キヤノン	1.5%
24 オリックス	1.5%
25 オリンパス	1.4%
26 パナソニック ホールディングス	1.4%
27 富士フイルムホールディングス	1.4%
28 ウシオ電機	1.3%
29 INPEX	1.2%
30 東京海上ホールディングス	1.2%

・オーバーウェイト比率とは実際の組入比率がTOPIXの時価構成比を上回っている割合です。  
・当ファンドはファミリー・フレンドリー評価が高く、かつ割安な株価水準にある銘柄を中心にTOPIXに対してオーバーウェイトとしていますが、TOPIX構成銘柄に採用されていない銘柄を組み入れる場合があります。

## ■運用担当者コメント(マザーファンドベース)

「ファミリー・フレンドリー企業」としての評価が高く、かつ独自の理論株価モデルで算出される割安度が高い銘柄を多く組み入れつつ、業種構成や規模構成などの要素については参考指数(TOPIX)と過度にカイ離しないようにポートフォリオを構築し運用しました。

4月のパフォーマンスはシマノ、三菱瓦斯化学、SCREENホールディングス等がマイナスに影響したものの、サントリー食品インターナショナル、アサヒグループホールディングス、NECネットエスアイ等がプラス寄与したことにより、ファンド全体では参考指数を上回りました。

今後におきましては、個別銘柄ベースでのファミリー・フレンドリー評価に変更があった場合、あるいは業績予想、株価水準等が大きく変化し割安度が低下した際には、ファンドコンセプトを維持するために銘柄入替を実施いたします。(運用担当者:指田)

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

**三菱UFJ SRIファンド**  
**〈愛称:ファミリー・フレンドリー〉**

月次レポート

 2022年  
 04月28日現在

追加型投信／国内／株式

ファミリー・フレンドリー企業としての評価は、グッドバンカー社からの投資助言に基づいて行います。

グッドバンカー社便り～グッドバンカー社からのコメントを原則としてそのまま掲載しています。

**■SRI業界コメント**
**保育園に学ぶSDGs**

先日、グッドバンカー社のアナリストの子供の保育園で、園児たちが1年間行ってきたSDGsへの取り組みについての発表会が開かれました。その取り組みを主導した幼児リーダーの先生は、自身の母親が保育士としてずっと働き続けている姿や豊富な海外経験から、SDGsを子供たちに教えることを思い付いたそうです。

園での取り組みの始まりは、夏祭りでの古着の交換と「どんぐり銀行」(高知県大川村に本店があるどんぐりを苗木と交換する銀行を主体とした植樹活動。)でした。さらに13もの取り組みについて、先生がスライドで紹介し、園児一人ひとりがその取り組みで感じたことや考えたことを発表しました。

タイやケニアの子供たちとオンライン交流をした際、ごみ問題や水質汚染に興味を持ち、どうすればきれいな水ができるかと考え、泥水をろ過する方法を調べてろ過装置を手作りしたり、バケツに10リットルの水をためて運ぶ体験をしました。園児は「きれいな水はとても貴重で大切なものだと思いました」「貧しい国にも水道があれば、みんないつでも安全な水が飲める」と言っていました。運動会が大雨洪水警報で中止になった時、園児が残念がるのではとの先生の心配をよそに、国内外の災害の映像を見たことがあった園児が中心となって、オリジナルのハザードマップを作り始めたそうです。また、保育園で受けている歯科検診や内科検診ですが、海外では受けられずに病気になる子供がいることを知ると、「国境なき医師団に行ってもらえるようにしたい」と言う意見が出たそうです。

さらに、保育園での取り組みに触発されてSDGsを学び始めた保護者から、ライ麦ストローが提供されたことからプラスチック問題について考えたり、自身の会社が「おにぎりアクション」(おにぎりの写真をSNSなどに投稿すると、1枚につき給食5食分の寄付ができる取り組み。)の協賛企業であることを知った保護者が、保育園にも取り組みを呼び掛けるなどしました。この発表会を通して、子供たちが遠く離れた、全く異なる環境で生活する人たちのことを、想像して思いやりを持ち、さらに、自分にも何かできることはないかと考えることができるように育っていることが印象的でした。

「SDGsはあくまでツールの一つであり、子供たちが自分の頭で考えたり、自らの考えを持つことが大事」との先生の言葉はそのまま大人にも当てはまるのではないのでしょうか。戦争はSDGsの精神に最も反するものであり、今、ウクライナの子供たちの上に起こっていることをやめさせるために何ができるか考え、行動することが大人たちに求められているのではないのでしょうか。

**■ファミリー・フレンドリー評価ポイント**
**協和キリン(医薬品、4151)**
**① ファミリー・フレンドリーへの取り組み**

同社グループは、人材をイノベーションの源泉ととらえ、社員一人ひとりの能力を最大限引き出し、変革に挑み新しい価値を創造し続ける人と組織をつくることをめざしています。2021年、同社はダイバーシティ(多様性)・エクイティ(公平性)・インクルージョン(受容)を企業文化の基盤ととらえ、グローバルで「私たちのDE&I宣言」を策定し、トップメッセージとともに社内に発信しました。当面の優先課題として、2030年までにグローバルで女性リーダー比率40%を目標に掲げています。今後、女性経営職向けメンタリングプログラムを実施し、ロールモデルを設定していくとしています。

両立支援策では、保育サービスの不足や多様な働き方に対応するため、2021年より保活コンシェルジュサービスの提供を開始したほか、2022年以降、高崎・三島地区での企業内保育園を設置する予定です。また、有給休暇取得率や男性の育児休暇取得率にも数値目標を設定し、制度の周知と部長以上に対するアンコンシャスバイアス研修を継続的に実施するなど、ハード・ソフト両面から取り組みを進めています。

**② グッドバンカー社の評価ポイント**

2030年ビジョンに向けて、それを実現するための具体的な目標を掲げ、実績を積み上げながら、中期的な視野で取り組みを推進している点を高く評価します。

同社の2020年までの行動計画では、経営職における女性社員の比率10%以上を目標としていましたが、20年末時点で11.2%と達成し、新たな行動計画においても2025年末までに18%を掲げています。男性社員の育休取得率は、2018年3.5%、2019年7.4%、2020年は20.3%と順調に上昇してきており、2025年末までに30%以上にすることを目標にするなど、結果に結びつけています。ライフイベント後も、キャリアの継続を選択しやすい風土が社内で醸成されてきたこと、また同社独自の有給休暇制度「育児目的休暇制度」が功を奏しているようです。

高齢化社会の進展や新たな治療薬の開発など、医薬品業界の役割は今後も重要です。同社の人材施策により、多様な人材の個性が一つのビジョンに向かって発揮されることで、同社が日本発のグローバル・スペシャリティファーマとして社会的な企業価値を高めていくことを期待します。

**三菱UFJ SRIファンド**  
**〈愛称:ファミリー・フレンドリー〉**

月次レポート

2022年  
 04月28日現在

追加型投信／国内／株式

グッドバンカー社便り～グッドバンカー社からのコメントを原則としてそのまま掲載しています。

**■ファミリー・フレンドリー評価ポイント**

伊藤忠商事(卸売業、8001)

① ファミリー・フレンドリーへの取り組み

グループ企業理念「三方よし」(「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」)を体現し、多様な人材が能力を最大限に発揮できる「厳しくとも働きがいのある会社」をめざしています。

2013年10月から導入した「朝型勤務制度」によって、夜型の残業体質から朝型に社員の意識改革を行うなど、早くから「働き方改革」を進めてきました。社員意識調査での社員の声や、取締役会の任意諮問機関として2021年10月に設置された「女性活躍推進委員会」での議論も踏まえ、「働き方改革」第2ステージとして2022年5月から15時以降の早帰りを認める「朝型フレックスタイム制度」を導入するとともに、「在宅勤務制度」の対象を従来の「妊娠・育児・介護など事由のある社員」との制限をなくし、全社員へと拡大します。女性活躍については、全社的な制度に加え個々の事情に応じた支援を実施し、自律的なキャリア形成を促しています。人材育成に関しては、上司とのキャリアビジョン面談を基に、個々の能力を強化する多種多様な研修の無料受講を可能とし、2022年4月からは、スマートフォンで視聴できる外部のオンライン学習動画サービス導入のトライアルも開始しています。

② グッドバンカー社の評価ポイント

各社員が特性を活かして活躍できる「人材戦略」を「経営戦略の一環」と捉え、制度の整備を進めていることを高く評価します。生活消費事業に強みを持つ同社にとって女性の視点は重要ですが、女性活躍推進委員会の発足後、2021年4月時点で35名だった女性役職者が22年4月時点で46名に増加。女性として初の海外事業所長、初の国内事業会社社長など重職への登用が進んでおり、現場との協議から同委員会での議論、取締役会への報告という一連のサイクルによって、今後も実効性のある施策の導入が期待できそうです。女性の人事総務部長は就任以来、女性社員150人との面談をしており、キャリアの不安や個別事情を相談した社員からは「前向きな気持ちになれた」との声が上がっています。スマホで視聴可能なオンライン学習動画のトライアルは、通勤など「すき間時間」での利用を想定しているほか、「朝型フレックスタイム制度」の早帰りのできた時間を、自己研鑽に使ってもらう狙いもあるようです。グローバルな競争が激化する中、付加価値の創造を継続的に行うには、組織の多様性は不可欠です。5大商社の中で単体従業員が最少である少数精鋭の同社は、働き方改革によって人材を育て、企業競争力がさらに向上されることが期待されます。

**■ファミリー・フレンドリー評価ポイント**

三菱地所(不動産業、8802)

① ファミリー・フレンドリーへの取り組み

同社は、持続的な価値創出を担うのは、最も重要な経営資源である「人財」の力とし、全ての従業員が創造性を発揮し、挑戦を促すような環境の整備に取り組んでいます。

2030年度までの女性管理職比率の目標を従来の10%から20%に引き上げ、2040年度に30%、2050年度に40%をめざしています。それに向けて、新卒採用の女性比率を30%から40%に引き上げるほか、女性のキャリア形成を支援するイベントなどを継続的に実施しています。また、子が3歳になる年度末まで利用可能な育児休業制度のほか、配偶者の転勤に伴う休職制度や転勤制度など、充実した両立支援制度を備えており、利用も進んでいます。さらに、2030年度までに男性育児休業取得率の100%達成をめざし、「産前産後・育児休業ハンドブック」の周知や人事部からの個別の案内、経験者による座談会などを実施しています(2020年度実績51.4%)。

2009年から開始した「新事業提案制度」では複数の社内起業に繋がっています。また、2019年度からビジネスモデル革新やイノベーション創出を目的とし、業務時間の10%以上を通常業務以外の活動にあてることを必須化しました。2020年1月からは「副業制度」を解禁し、現在50件程度まで活用が進んでいます。

② グッドバンカー社の評価ポイント

長期的な視野に立ったまちづくりを通じて、社会に付加価値を提供することをめざす同社は、全ての従業員がいきいきと働き、新しい価値の創造につながる就業環境を整えるべく、バックカasting思考によりKPI目標を定め、必要な施策を継続的に強化している点を高く評価します。上記の取り組みに加え、「健康経営2030」では健康層の割合(40歳以上の定期健康診断において、生活習慣病の判定に影響する項目の全てが正常値の範囲内の人の割合)を2025年20.85%、2030年32.8%とすることなどを目標に、カフェテリアプランによる健康増進活動への費用補助や「カラダ改善コンテスト」をはじめとした健康に関する社内運動イベントやセミナーを実施しています。こうした従業員のウェルビーイング向上も、働きやすい職場作りに相乗効果をもたらすものであり注目しています。同社の多様な従業員がその能力を最大限に発揮し、日々新しい挑戦を続け、急速に変化する働く場所や空間、時間の自由度へのニーズに対応することで、企業価値をさらに高めていくことを期待します。

・グッドバンカー社からのコメントは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、三菱UFJ国際投信の個々のファンドに影響を与えるものではなく、投資勧誘・販売を目的とするものではありません。  
 ・業界コメント等については、グッドバンカー社が信頼できると判断した情報に基づき構成されていますが、内容の正確性あるいは完全性については、これを保証するものではありません。

**■本資料で使用している指数について**

・TOPIX(東証株価指数)とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

※後記の「本資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

# 三菱UFJ SRIファンド 〈愛称:ファミリー・フレンドリー〉

追加型投信／国内／株式

## ファンドの目的・特色

### ■ファンドの目的

わが国の株式を実質的な主要投資対象とし、「ファミリー・フレンドリー企業」として高く評価され、かつ株価が本来あるべき価格（理論株価）に対して割安と判断される銘柄に投資を行うことにより、長期的な値上がり益の獲得をめざします。

### ■ファンドの特色

- ・ファンドにおいて「ファミリー・フレンドリー企業」とは「仕事と生活を両立でき、多様で柔軟な働き方を選択できる企業」をいいます。ファミリー・フレンドリー企業としての評価は、グッドバンカー社からの投資助言に基づいて行います。
- ・個別銘柄の理論株価および理論株価に対する割安度の測定については、三菱UFJ信託銀行と同社グループの投資理論研究機関「MTEC」(三菱UFJトラスト投資工学研究所)が共同開発した「理論株価モデル」を活用します。
- ・SRI(Socially Responsible Investment: 社会的責任投資)とは、財務的な観点からだけでなく、特に社会的存在として企業のあり方を評価して投資する運用手法です。
- ・ファンドはSRIの一分野である「ファミリー・フレンドリー」をテーマとしたファンドです。

### ■ファンドの仕組み

- ・運用は主に三菱UFJ SRIマザーファンドへの投資を通じて、わが国の株式へ実質的に投資するファミリーファンド方式により行います。

### ■分配方針

- ・年1回の決算時(11月20日(休業日の場合は翌営業日))に分配を行います。
- ・分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。
- ・分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

## 投資リスク

### ■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

価格変動リスク	一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動するため、ファンドはその影響を受け組入株式の価格の下落は基準価額の下落要因となります。
信用リスク	組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

### ■その他の留意点

- ・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- ・ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受け付けが中止となる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。

収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。

投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

- ・ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響する場合があります。

**ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。**

# 三菱UFJ SRIファンド (愛称:ファミリー・フレンドリー)

追加型投信/国内/株式

## 手続・手数料等

### ■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位/販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の基準価額 ※基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
換金単位	販売会社が定める単位(ただし、1万口を上回らないものとします。)/販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することがあります。
信託期間	無期限(2004年12月3日設定)
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回るようになった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。
決算日	毎年11月20日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人受益者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

### ■ファンドの費用

#### お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料 購入価額に対して、**上限3.3%(税抜 3%)**(販売会社が定めます)  
(購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)

信託財産留保額 ありません。

#### お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬) 日々の純資産総額に対して、**年率1.65%(税抜 年率1.5%)**をかけた額

その他の費用・手数料 監査法人に支払われるファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についてもファンドが負担します。  
※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎計算期間の6ヵ月終了時、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。  
なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

## 本資料のご利用にあたっての注意事項等

●本資料は、三菱UFJ国際投信が作成した資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。●本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。●本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。●本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。●投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

●委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号

加入協会: 一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会

<ホームページアドレス> <https://www.am.mufg.jp/>

<お客さま専用フリーダイヤル> 0120-151034

(受付時間 営業日の9:00~17:00)

●受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

**ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。**

## 販売会社情報一覧表

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は下記の販売会社まで

ファンド名称: 三菱UFJ SRIファンド

商号	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
株式会社三菱UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第33号	○	○	○	
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○